

e-lite laser

JUNO RGB3000 V1.6



▶ はじめに

この度は E-lite Laser 製レーザー照明機器「JUNO RGB3000」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

e-lite「JUNO RGB3000」は、ハイスピード 30K スキャナーとトータル 3,800mW のレーザーダイオードを搭載した、ハイコストパフォーマンス・アニメーションレーザープロジェクターです。ILDA インพุット / アウトプットを装備しており、各種 ILDA ソフトウェアを使用して、クオリティとオリジナリティの高い演出を行うことができます

▶ 製品内容

本体	1
電源ケーブル	1
キースイッチ	2
インターロック	1
取扱説明書	1
保証書	1

IDE コーポレーション有限公司

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。

発売元：IDE コーポレーション有限公司

〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西 1-1-4 TEL 06-6630-3990

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることが出来る場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発生する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。

使用時の注意



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があります。



この機器のパネルのすきまに手や指を入れない。
けがや傷害につながるおそれがあります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れない。
感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。
異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器の破損や傷害の原因となります。



警告

レーザーの使用について

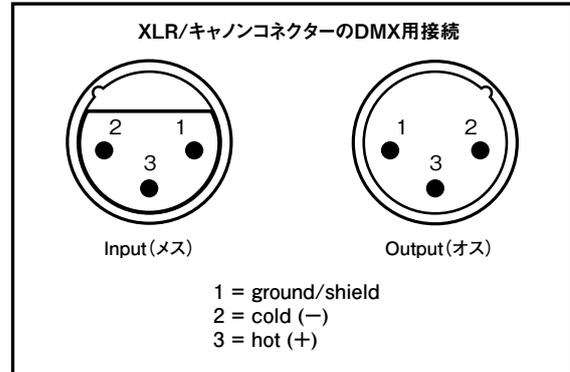
- ※ レーザーは、使い方を誤ると非常に危険です。設置・使用に際しては、正しい知識をもった技術者の指導をかならず受けてください。
- ※ レーザー光線を直接人や動植物に照射することは絶対にやめてください。また、本製品を運転したまま放置することも大変危険です。
- ※ Class 3B のレーザー機器は、目へのビーム内露光が生じると、偶然による短時間の露光でも、通常危険なレーザー製品です。熟練のレーザー知識を有するオペレーターによるのみ操作が許されています。
- ※ レーザーのクラスとその波長レベルによっては網膜や皮膚に損傷をもたらすことがあります。
- ※ レーザー機器の設置に関する規定は国ごとに様々な規定がございます。日本国内で本製品を使用する場合は、JIS C 6802:2005「レーザー製品の安全基準」をよくお読みの上、設置及び運転上の安全に十分ご配慮ください。

- ※ 不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。
- ※ 使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。
- ※ 電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常ではありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、ご注意ください。
- ※ この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部ことなる場合があります。
- ※ この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。
- ※ 仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。
- ※ 本製品は日本国内での使用を前提としています。本製品の再販に伴う日本国外への輸出はおやめください。

端子一覧

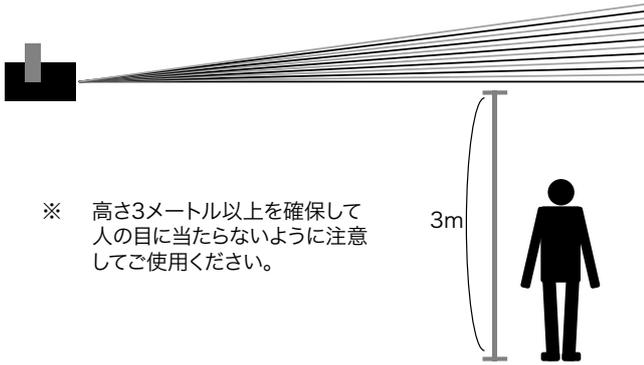
正しい端子・ケーブルをご使用ください。

端子名	極性	タイプ
INPUT, OUTPUT	ピン1: グラウンド (GND) ピン2: コールド (-) ピン3: ホット (+)	XLR



CABLE (EU)	CABLE (US)	PIN	International
Brown	Black	Live	L
Light Blue	White	Neutral	N
Yellow / Green	Green	Earth	Ⓧ

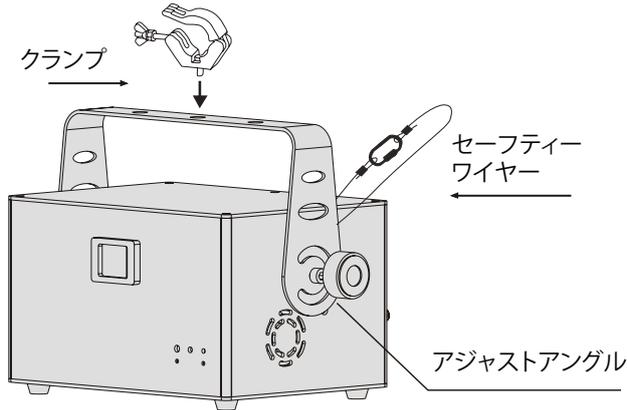
▶ 取り付け



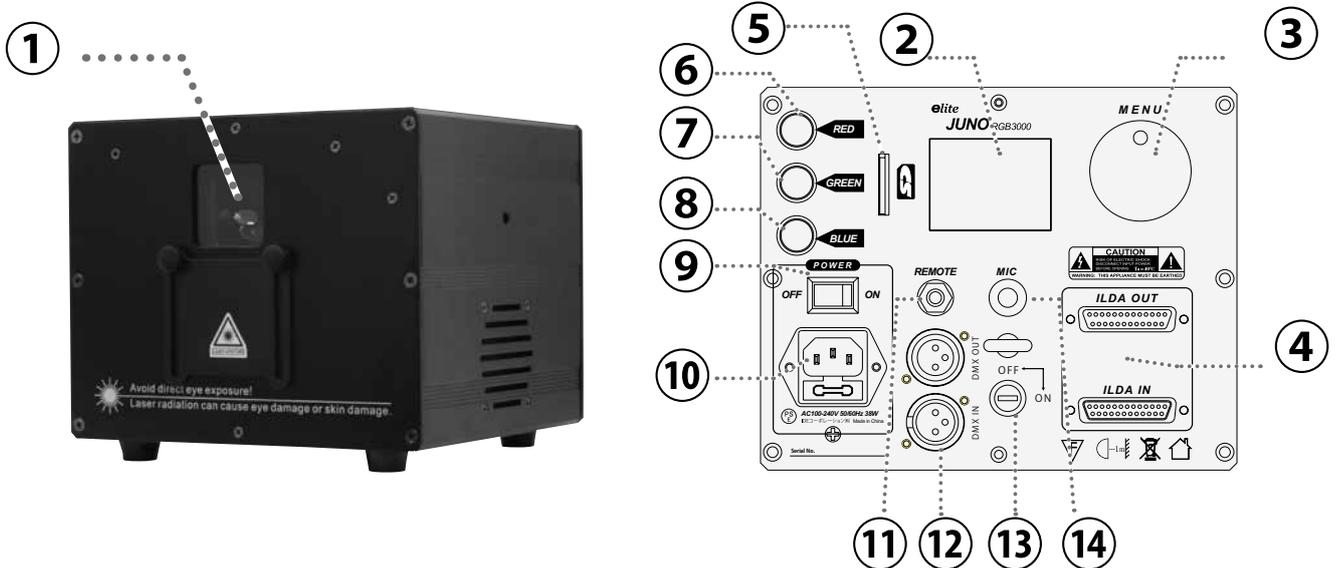
重要

安全のためスイッチを使用してください。

オペレーション中は連続的な使用をしないようにするのがこの装置の寿命の最大化のポイントです。短時間のうちに何度も on/off の切替をしないで下さい。故障の原因となります。バルブの付け替え時や長時間使用しない場合は電源ケーブルを抜いておいて下さい。重大な問題が発生した場合はただちに使用をやめお買い求め販売店までご連絡ください。



▶ 各部の名称



No.	名称	No.	名称
①	レーザー出力口 ※危険ですので覗かないでください	⑧	BLUE
②	ディスプレイ	⑨	電源スイッチ
③	MENU ダイヤル / 決定ボタン	⑩	IEC 電源入力
④	ILDA 入出力 (D-SUB 25pin)	⑪	リモートキー
⑤	SD カードスロット	⑫	DMX1pin 入出力
⑥	RED	⑬	キーロック
⑦	GREEN	⑭	マイク入力

DMX CH スタートアドレス

各器具は特定の開始アドレスを設定しなければなりません。信号送信を受信すると、フィクスチャは開始アドレスからチャンネル制御信号を受信します。さまざまな要件や使いやすさに応じて、ユーザーは同じアドレスに多くの値の備品を設定することができます。また、すべてのデバイスのために別々のアドレスを設定することができます。同じアドレスを設定した場合、すべてのデバイスはDMXチャンネル信号から受信します。すべての接続器具は共同で制御され、コントローラはデバイスを別々に制御することはできません。

異なるアドレスを設定すると、各デバイスはその特定の開始アドレスから分離され、DMX512 制御信号の受け入れを開始するため、1つのデバイスをより便利に分離制御できます。この方法を使用すると、開始アドレスを決定するためにデバイスのチャンネル数に基づく必要があります。

このレーザーは17chです。最初のユニットの開始アドレスを1,2番目のユニットを18 (17 + 1)、3番目のユニットを35 (17 * 2 + 1) に設定します。

1 灯目	2 灯目	3 灯目	4 灯目
001	018	035	52

メニュー操作 (V1.6)

ディスプレイメニュー操作は [③ MENU ダイヤル] で行います。また [③ MENU ダイヤル] は [③ 決定ボタン] として使用します。メニューからファンクションを選択し、値の増減やモードを選択して設定を保存するには [③ 決定ボタン] を 3 回押ししてください。

通常 DMX でご使用の場合は、DMX STATE → BLACK OUT の選択を推奨します。その際は SD カードを抜いた状態で設定してください。

MENU ダイヤル 決定ボタン操作	MENU 上	ファンクション上
時計回り	MENU を上から下に移動する	値を減少させる
反時計回り	MENU を下から上に移動する	値を増加させる
決定ボタン	1 回押しすと、ファンクションに入る	3 回押しすることで、設定の変更を保存します

MENU	表示	ファンクション
DMX Address →	001-512	DMX アドレス設定を行います
Show Mode →	Prg mode	ディスプレイリストモード：PRG ファイルの表示は現在のファイル名の 2 段目に表示されます
	ILDA Mode	ファイルの展開名は ILDA で表示されます
	Sound	サウンドアクティブモード
	Auto Mode	オートモード
Sound Sense →	000-100	マイク入力感度を設定します
SD File →	-	SD カードのファイルを選択します
SIZE →	000-100	パターンサイズを設定します
Phasic set →	-	XY 軸の設定をします
Speed set →	-	スキャナスピードを設定します。スキャナのスピードが上がるとエッジの描画力が下がります
DMX STATE →	Show Mode	DMX 信号がない時、SHOW モードで動作します
	Black out	DMX 信号がない時、暗転します。SD カードを抜いた状態で使用してください。
Slave →	Master / Slave	マスタースレーブモード
Fixture Hours →	-	灯体の総使用時間を表示します
Version →	-	ソフトウェアバージョンを表示します

DMX チャンネル

チャンネル		DMX 値	ファンクション		
CH 1	コントロールモード	000-049	オートモード		
		050-099	サウンドアクティブモード		
		100-149	PRG ファイルを表示		
		150-199	ILDA ファイルを表示		
		200-255	DMX モード		
CH 2	パターン / ファイル 選択	000-255	DMX モード	PRG/ILD MODE	
			パターン選択, 1 パターン 3 デジット	ファイル選択	
CH 3	ストロボ / ファイル表示	000-010	ストロボなし		
		011-199	ストロボオート SLOW - FAST		
		200-255	ストロボ / サウンドアクティブ		
CH 4	カラー選択	000-005	レーザーオフ		
		006-016	ホワイ	006-010	ILD ファイルカラー
					011-016
		017-033	RED		
		034-050	GREEN		
		051-067	BLUE		
		068-084	YELLOW		
		085-101	PURPLE		
		102-118	CYAN		
		119-135	WHITE, RED, GREEN, BLUE SUBSECTION		
		136-152	BLUE, YELLOW, PURPLE CYAN SUBSECTION		
		153-169	WHITE, RED, GREEN, BLUE, YELLOW, PURPLE, CYAN SUBSECTION		
		170-186	WHITE, RED, GREEN, BLUE COLOR FLOWING		
		187-203	BLUE, YELLOW, PURPLE, CYAN COLOR FLOWING		
		204-220	WHITE, RED, GREEN, BLUE, YELLOW, PURPLE, CYAN, COLOR FLOWING		
221-237	COLOR SUBSECTION SUBSECTION BY PATTERN BREAK-POINT				
238-255	COLOR CHANGE BY SOUND				
CH 5	ディスプレイ	000-063	ノーマルディスプレイ		
		064-127	ブライツドットディスプレイ		
		128-191	サブセクションディスプレイ		
		192-255	ドットディスプレイ		
CH 6	水平ムーブ	000-125	マニュアル調整		
		126-225	輪状に左から右へ		
		226-245	ランダムジャンプ オート		
		246-255	ランダムジャンプ サウンドアクティブ		
CH 7	垂直ムーブ	000-125	マニュアル調整		
		126-225	輪状に上から下へ		
		226-245	ランダムジャンプ オート		
		246-255	ランダムジャンプ サウンドアクティブ		
CH 8	ズーム	000-010	ズームなし		
		011-087	ズーム マニュアル調整		
		088-150	ズームアウト		
		151-200	ズームイン		
		201-255	輪状ズーム		

チャンネル		DMX 値	ファンクション
CH 9	水平軸回転	000	回転なし
		001-128	マニュアル調整
		129-255	回転オート
CH 10	垂直軸回転	000	回転なし
		001-128	マニュアル調整
		129-255	回転オート
CH 11	センター回転	000	回転なし
		001-128	マニュアル調整
		129-192	回転オート 時計回り
		193-255	回転オート 反時計回り
CH 12	グラデーション	000-010	ドロワーなし
		011-074	マニュアルドロワー
		075-104	オートドロワー / 増加
		105-144	オートドロワー / 減少
		145-184	オートドロワー 輪状
		185-224	端から端への段階的なドロワー / 増加
		225-255	端から端への段階的なドロワー / 減少
CH 13	ウェーブ / 水平	000-009	ウェーブなし
		010-069	ウェーブ 小
		070-129	ウェーブ 中
		130-189	ウェーブ 大
		190-255	ウェーブ 最大
CH 14	ウェーブ / 垂直	000-009	ウェーブなし
		010-069	ウェーブ 小
		070-129	ウェーブ 中
		130-189	ウェーブ 大
		190-255	ウェーブ 最大
CH 15	RED ディマー	000-255	ディマー 100%
CH 16	GREEN ディマー	000-255	ディマー 100%
CH 17	BLUE ディマー	000-255	ディマー 100%



製品仕様

		JUNO RGB3000 (V1.6)
電源		AC100-240V, 50/60Hz
消費電力		38W
出力	RED	600mW 638nm
	GREEN	600mW 520nm
	BLUE	1,800mW 445nm
スキャナースピード		30Kpps, ± 30°
モード		オート / サウンド / DMX512 / ILDA / マスタースレーブ / SD
チャンネル		17 ch
動作環境温度		10°C ~ 65°C
モジュレーション		アナログ
重量		4.1 kg
寸法		300 x 250 x 260 mm
Fuse		250 VAC / F2A